
海陽町 学校のあり方に関する
アンケート調査

－ 報 告 書 －

（速報版）

令和4年8月

海陽町 教育委員会

目 次

I	調査の概要	-----	1
II	回答者の属性	-----	2
	回答者区分	-----	2
	問1 年齢	-----	2
	問2 居住地区	-----	2
III	集計結果	-----	3
	小・中学校との関わりについて	-----	3
	問3 コロナ禍以前の小・中学校との関わり	-----	3
	問4 現在の小・中学校との関わり	-----	4
	問5 今後の小・中学校との関わり	-----	5
	学校と地域のあり方について	-----	6
	問6 小学校に求めること	-----	6
	問7 中学校に求めること	-----	7
	問8 町内の小・中学校の再編・統合について	-----	8
	問9 「海陽町の小・中学校統合計画」について	-----	9
	問10 小・中学校が再編・統合される場合、心配なこと	----	11
	問11 町営バスのあり方について	-----	12
	問11-1 バスの統合を検討する場合、配慮すべきこと	----	13
	問12 小・中学校のあり方を審議するにあたり		
	配慮してほしいこと	----	14
	問13 町の小・中学校のあり方や		
	再編・統合に関するご意見	-----	15

I 調査の概要

□調査実施内容

区 分	保護者	町民
調査対象	就学前児童や小・中学生の保護者	16歳以上
抽出方法	全員	住民基本台帳より無作為抽出 (左記の保護者を除く)
調査期間	令和4年6月23日～7月11日	令和4年6月23日～7月11日
配布数	557	500
調査方法	学校配布、学校回収	郵送配布、郵送回収
有効回収数	307	213
有効回収率	55.1%	42.6%

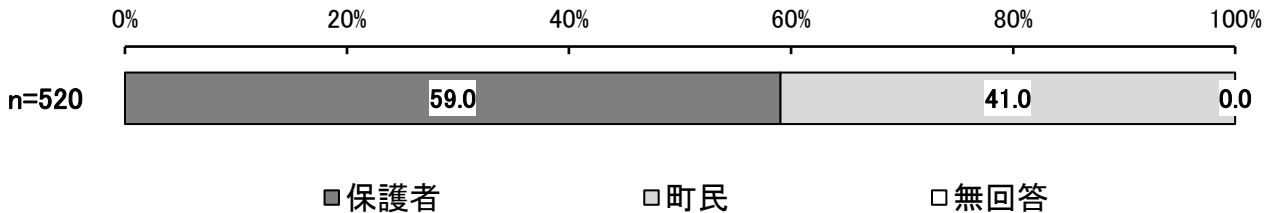
□報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は、回答者数(n)に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数(n)に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中のn(number of case)は、集計対象者総数です。

II 回答者の属性

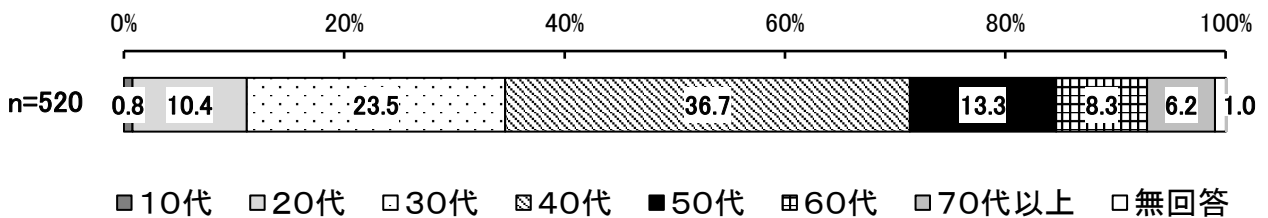
回答者区分

回答者の区分は、「保護者」59.0%、「町民」41.0%となっています。



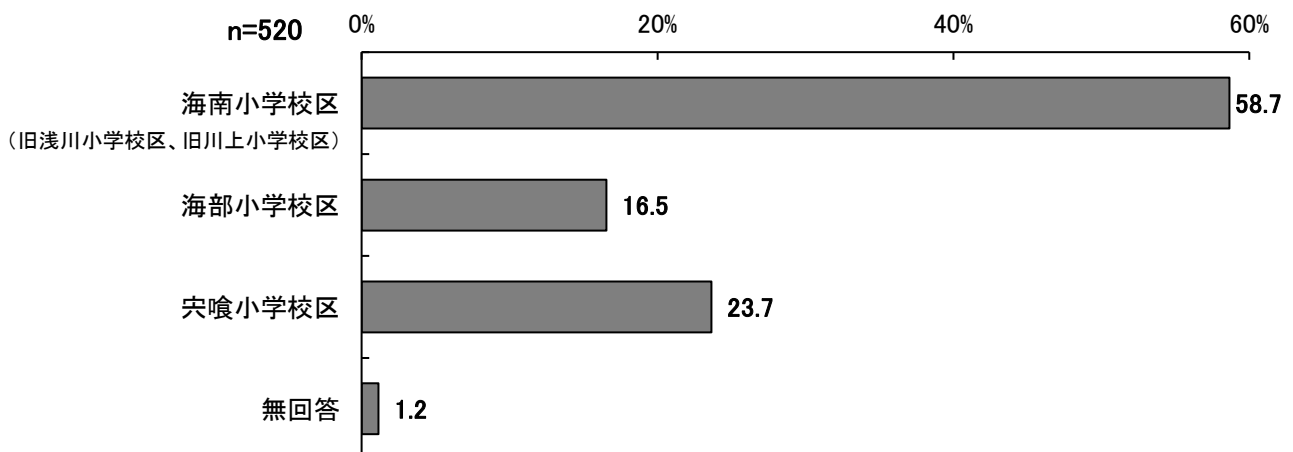
問1 年齢 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

回答者の年齢は、上位から「40代」36.7%、「30代」23.5%、「50代」13.3%、「20代」10.4%、「60代」8.3%、「70代以上」6.2%、「10代」0.8%となっています。



問2 居住地区 お住まいの地区は、どの小学校区ですか。(〇は1つ)

回答者の居住地区は、「海南小学校区」58.7%、「栄喰小学校区」23.7%、「海部小学校区」16.5%となっています。



III 集計結果

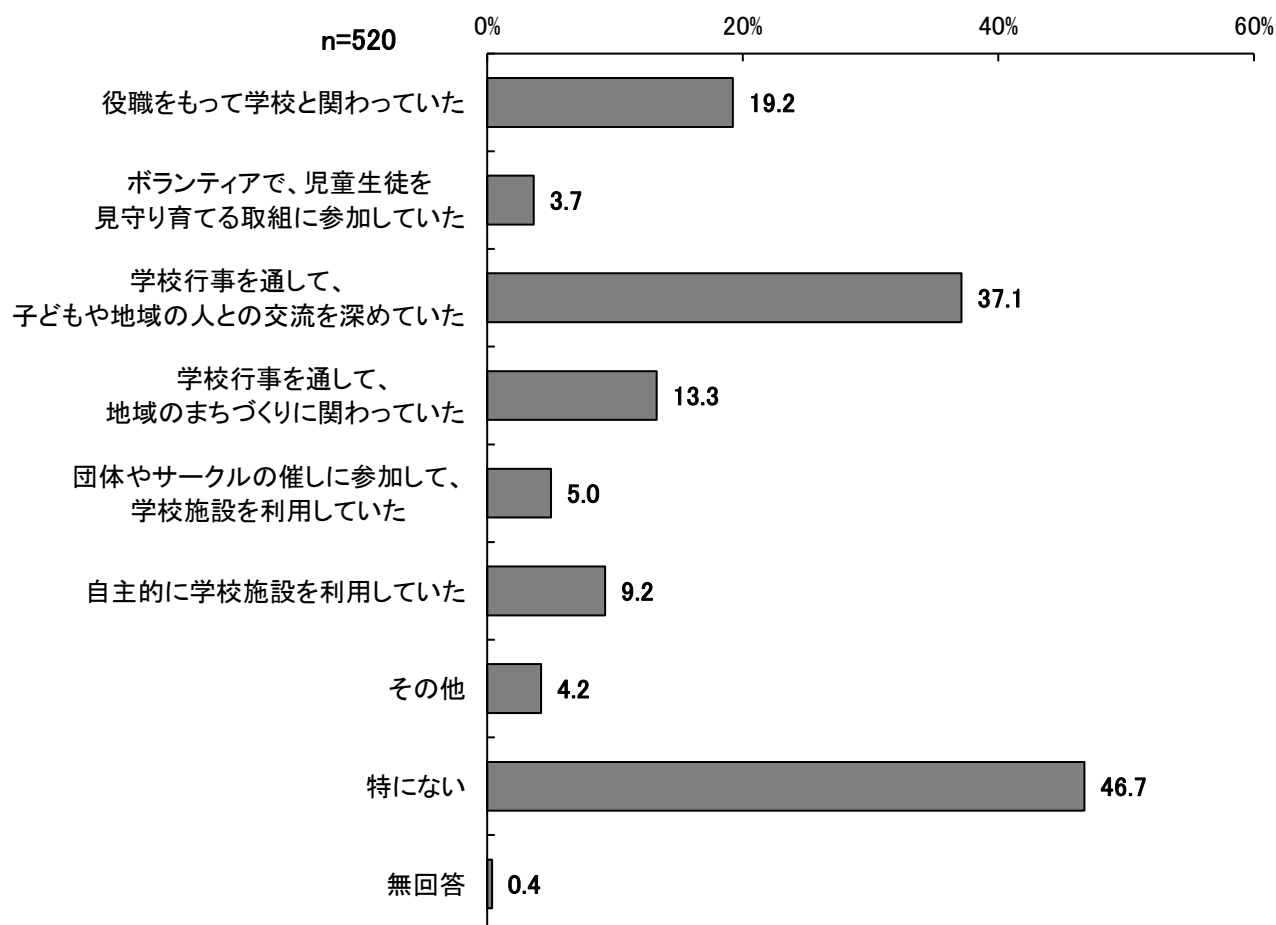
小・中学校との関わりについて

問3 コロナ禍以前の小・中学校との関わり

コロナ禍以前の3～5年前、あなたは小・中学校とどのような関わりをもっていましたか。
(あてはまるものすべてに○)

コロナ禍以前の小・中学校との関わりについて、上位から「学校行事を通して、子どもや地域の人との交流を深めていた」37.1%、「役職をもって学校と関わっていた」19.2%、「学校行事を通して、地域のまちづくりに関わっていた」13.3%となっています。また、「特にない」も46.7%と高くなっています。

【全体】



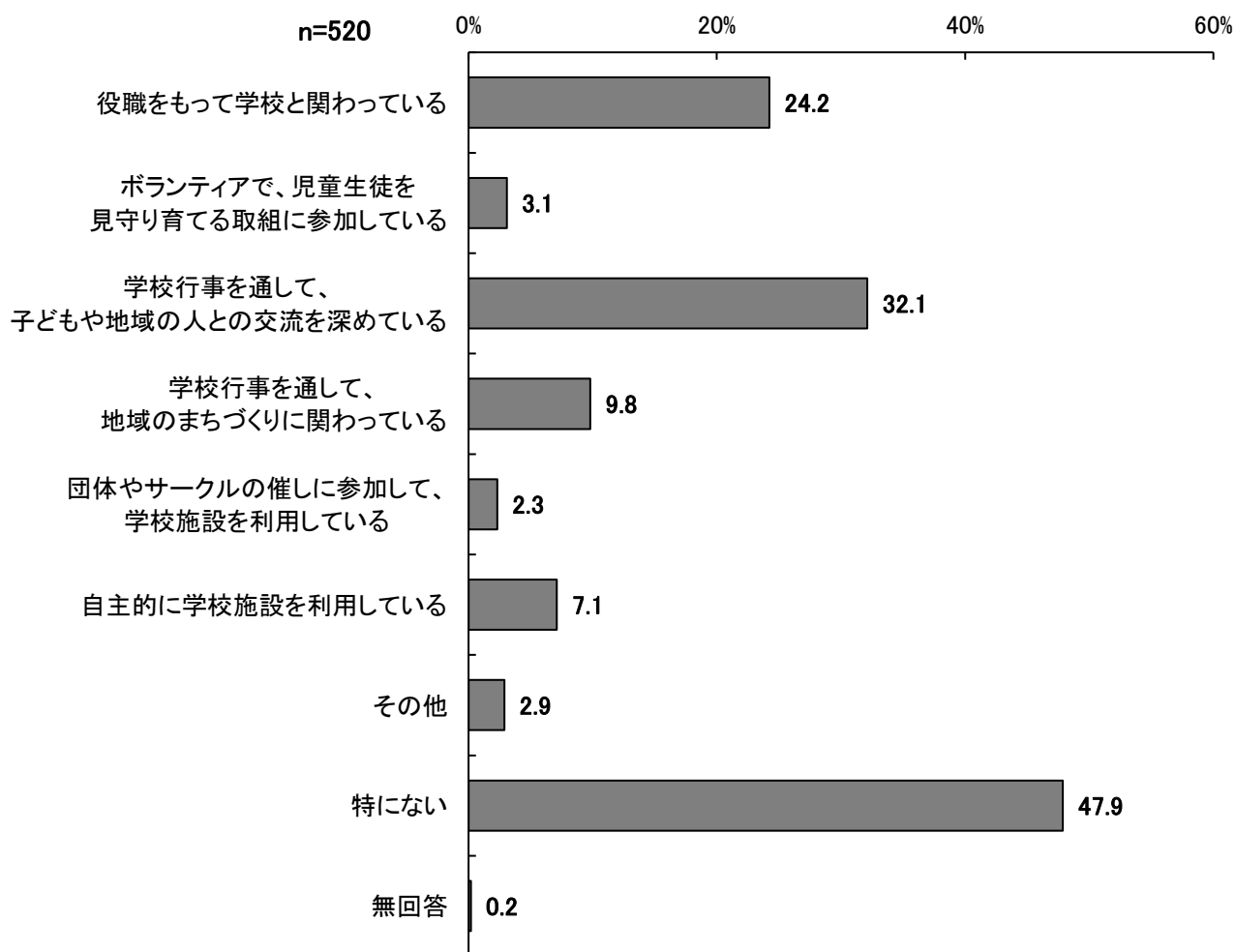
問4 現在の小・中学校との関わり

現在、あなたは小・中学校とどのような関わりをもっていますか。

(あてはまるものすべてに○)

現在の小・中学校との関わりについて、上位から「学校行事を通して、子どもや地域の人との交流を深めている」32.1%、「役職をもって学校と関わっている」24.2%、「学校行事を通して、地域のまちづくりに関わっている」9.8%となっています。また、「特にない」も47.9%と高くなっています。

【全体】



問5 今後の小・中学校との関わり

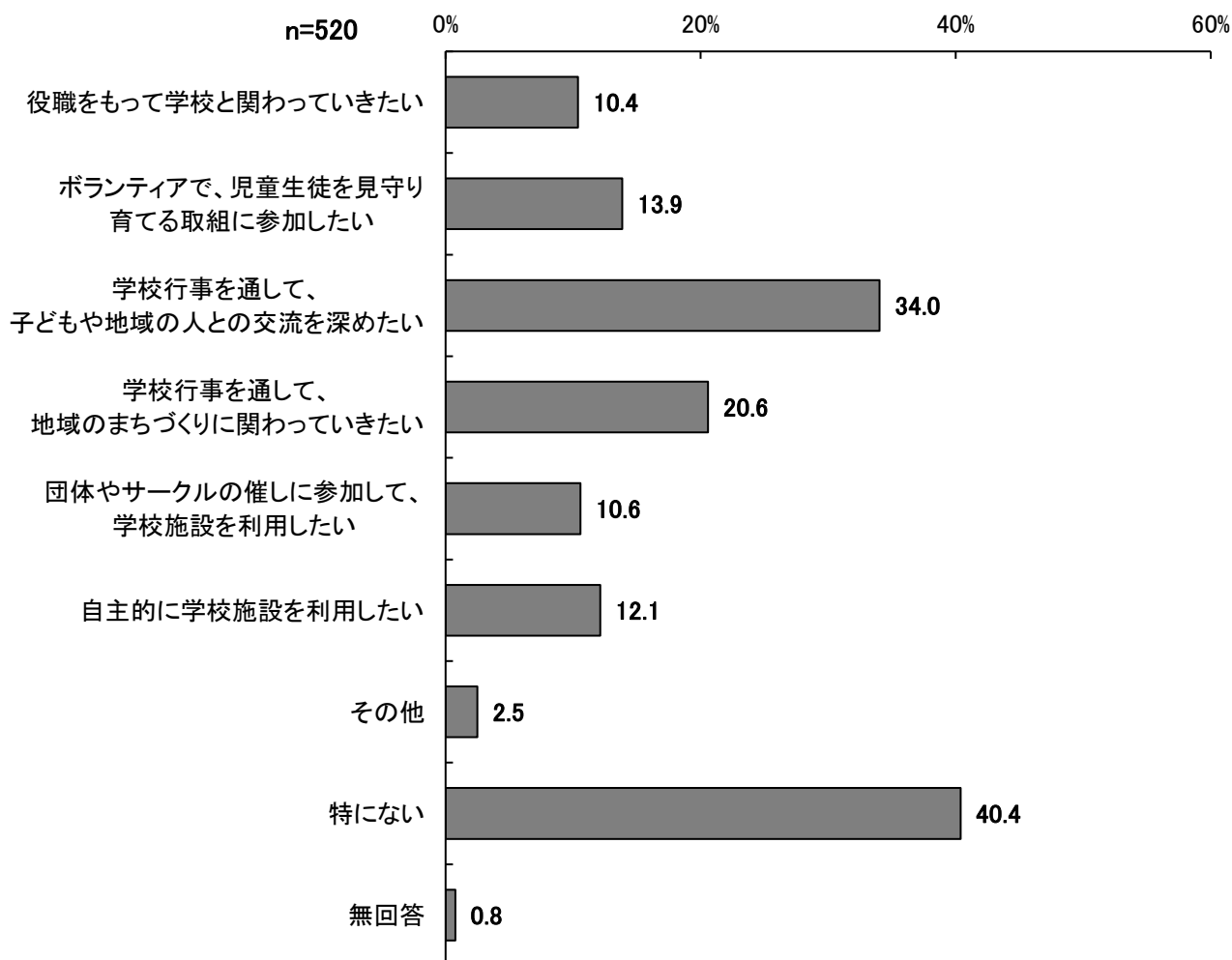
今後、あなたは小・中学校とどのような関わりをもちたいですか。

※就学前児童や小・中学生の保護者の方は、お子様が中学校卒業後を想像してお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

今後の小・中学校との関わりについて、上位から「学校行事を通して、子どもや地域の人との交流を深めたい」34.0%、「学校行事を通して、地域のまちづくりに関わっていききたい」20.6%、「ボランティアで、児童生徒を見守り育てる取組に参加したい」13.9%となっています。また、「特にない」も40.4%と高くなっています。

【全体】

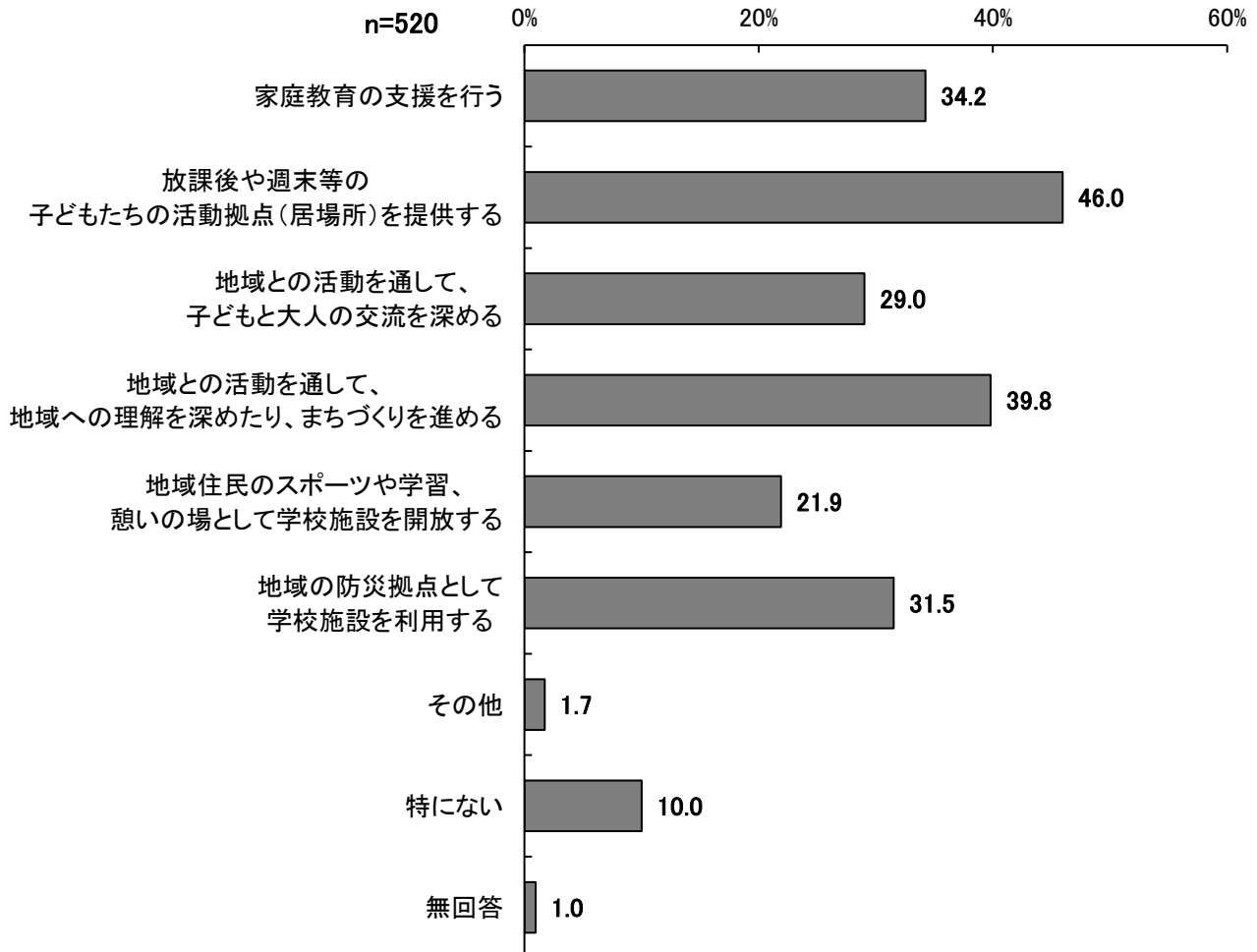


学校と地域のあり方について

問6 小学校に求めること あなたが小学校に求めることは何ですか。(〇は3つまで)

小学校に求めることについて、上位から「放課後や週末等の子どもたちの活動拠点（居場所）を提供する」46.0%、「地域との活動を通して、地域への理解を深めたり、まちづくりを進める」39.8%、「家庭教育の支援を行う」34.2%となっています。

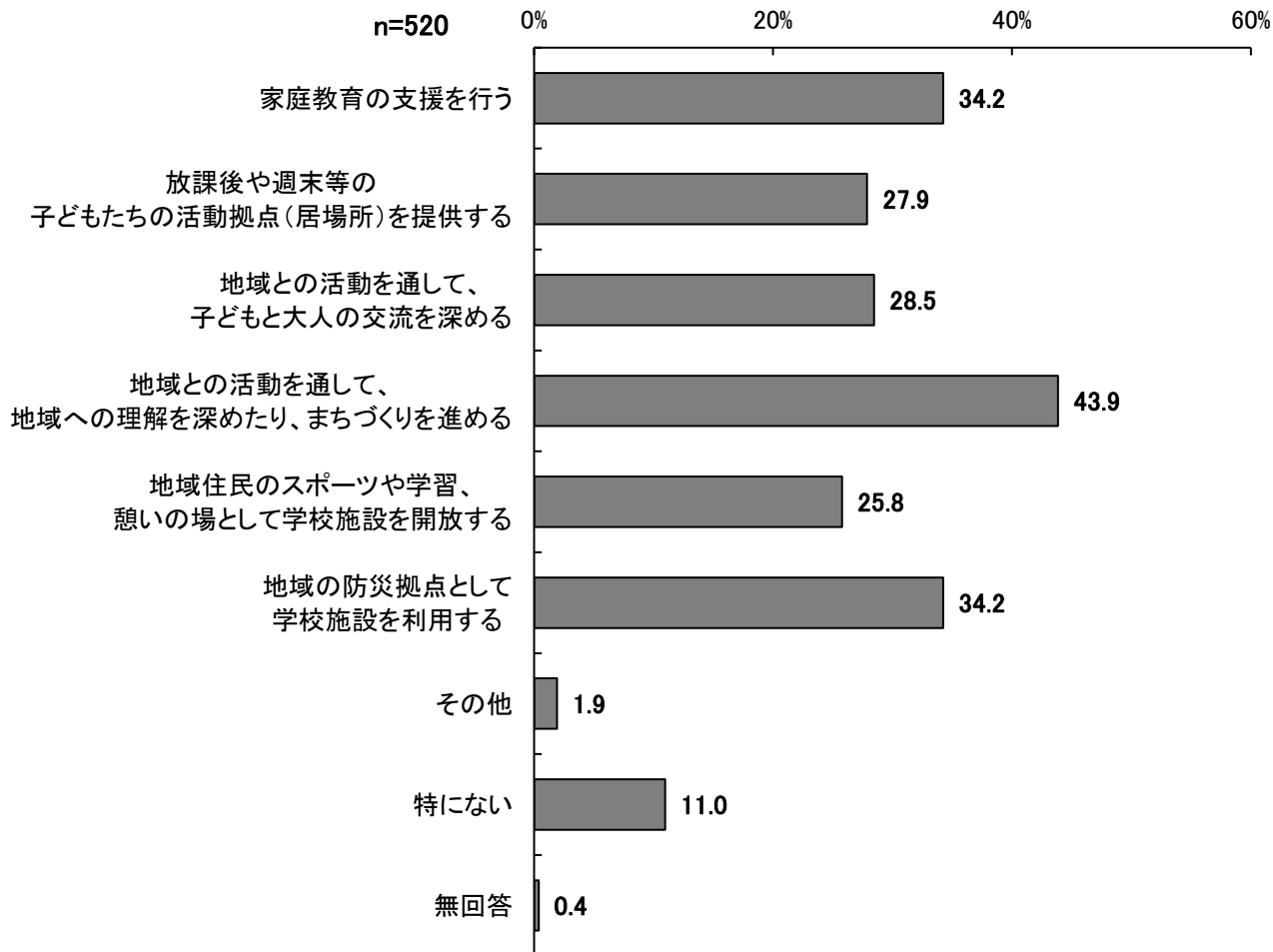
【全体】



問7 中学校に求めること あなたが中学校に求めることは何ですか。(〇は3つまで)

中学校に求めることについて、上位から「地域との活動を通して、地域への理解を深めたり、まちづくりを進める」43.9%、「家庭教育の支援を行う」及び「地域の防災拠点として学校施設を利用する」34.2%となっています。

【全体】



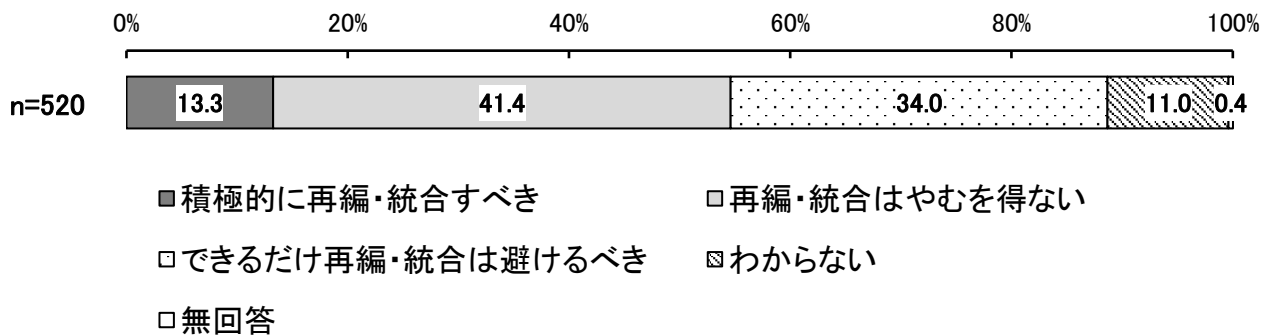
問8 町内の小・中学校の再編・統合について

海陽町の児童生徒数は減少し、小・中学校のほとんどが1学年1学級となっていますが、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(①～②それぞれに○は1つ)

①小学校

小学校の再編・統合について、上位から「再編・統合はやむを得ない」41.4%、「できるだけ再編・統合は避けるべき」34.0%、「積極的に再編・統合すべき」13.3%となっています。

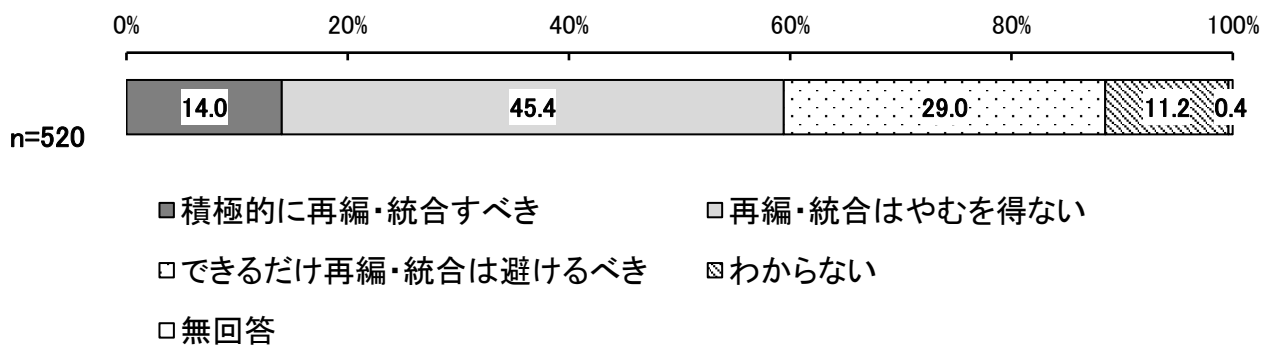
【全体】



②中学校

中学校の再編・統合について、上位から「再編・統合はやむを得ない」45.4%、「できるだけ再編・統合は避けるべき」29.0%、「積極的に再編・統合すべき」14.0%となっています。

【全体】



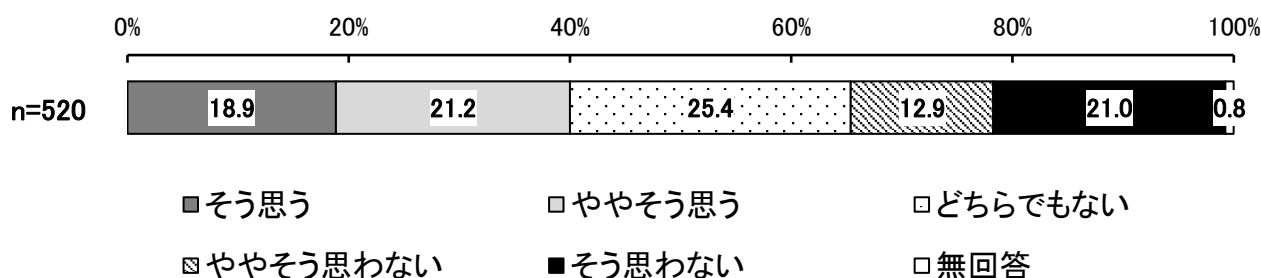
問9 「海陽町の小・中学校統合計画」について

平成20年度に策定した「海陽町の小・中学校統合計画」には、以下のように書かれています。あなたの考えに最も近いものはどれですか。(①～③それぞれに○は1つ)

①「集団による教育の充実」と「指導体制の充実」のために、小・中学校のすべての学級でクラス替えができる規模にする。(1学年2学級以上)

「海陽町の小・中学校統合計画」における小・中学校のすべての学級でクラス替えができる規模にするという考え方について、『賛成(「そう思う」と「ややそう思う」の合計。以下、同様。)]40.1%、『反対(「ややそう思わない」と「そう思わない」の合計。以下、同様。)]33.9%、「どちらでもない」25.4%となっています。賛成の方が反対を6.2ポイント上回っています。

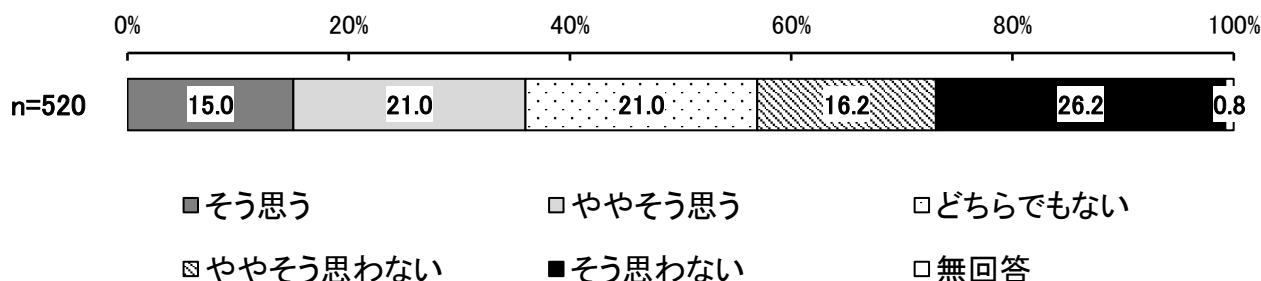
【全体】



②上記①を達成させるためには、町全体で「小学校1校・中学校1校体制」とせざるを得ない。

「海陽町の小・中学校統合計画」における町全体で「小学校1校・中学校1校体制」とせざるを得ないという考え方について、『賛成』36.0%、『反対』42.4%、「どちらでもない」21.0%となっています。反対の方が賛成を6.4ポイント上回っています。

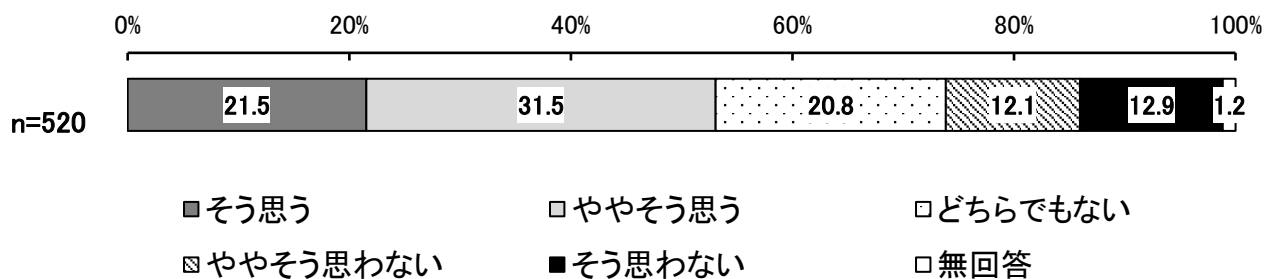
【全体】



③町の地理的条件を考えると上記②は厳しいため、町全体で「小学校 2 校・中学校 2 校体制」をめざすことが妥当といえる。

「海陽町の小・中学校統合計画」における町全体で「小学校 2 校・中学校 2 校体制」をめざすことが妥当といえるという考え方について、『賛成』53.0%、『反対』25.0%、「どちらでもない」20.8%となっています。賛成の方が反対を 28.0 ポイント上回っています。

【全体】



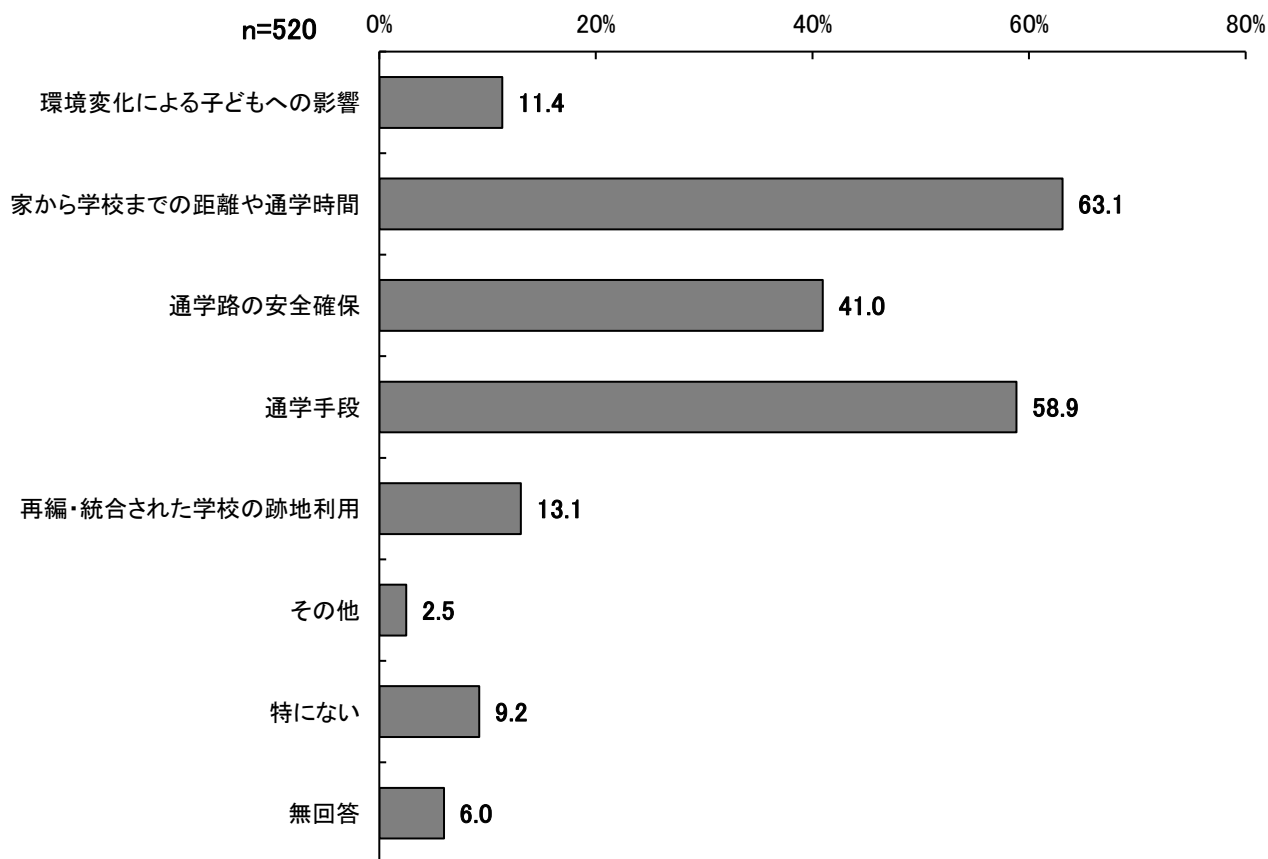
問10 小・中学校が再編・統合される場合、心配なこと

仮に、お住まいの地区の小・中学校が再編・統合される場合、心配なことはありますか。

(○は3つまで)

仮に小・中学校が再編・統合される場合に心配なことについて、上位から「家から学校までの距離や通学時間」63.1%、「通学手段」58.9%、「通学路の安全確保」41.0%となっています。

【全体】



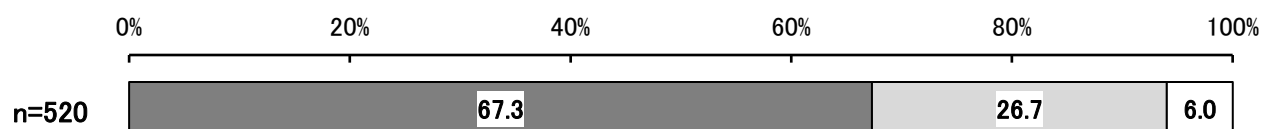
回答選択肢「1. 環境変化による子どもへの影響」の具体的な内容

問11 町営バスのあり方について

海陽町には、「スクールバス」と「路線バス（フリー乗降制）」の2種類の町営バスがあり、効率的な運用が求められています。これらのバスのあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つ）

スクールバスと路線バス（フリー乗降制）のあり方について、「スクールバスは維持すべきである」67.3%、「スクールバスと路線バスの統合を検討すべきである」26.7%となっています。

【全体】



- スクールバスは維持すべきである
- スクールバスと路線バスの統合を検討すべきである
- 無回答

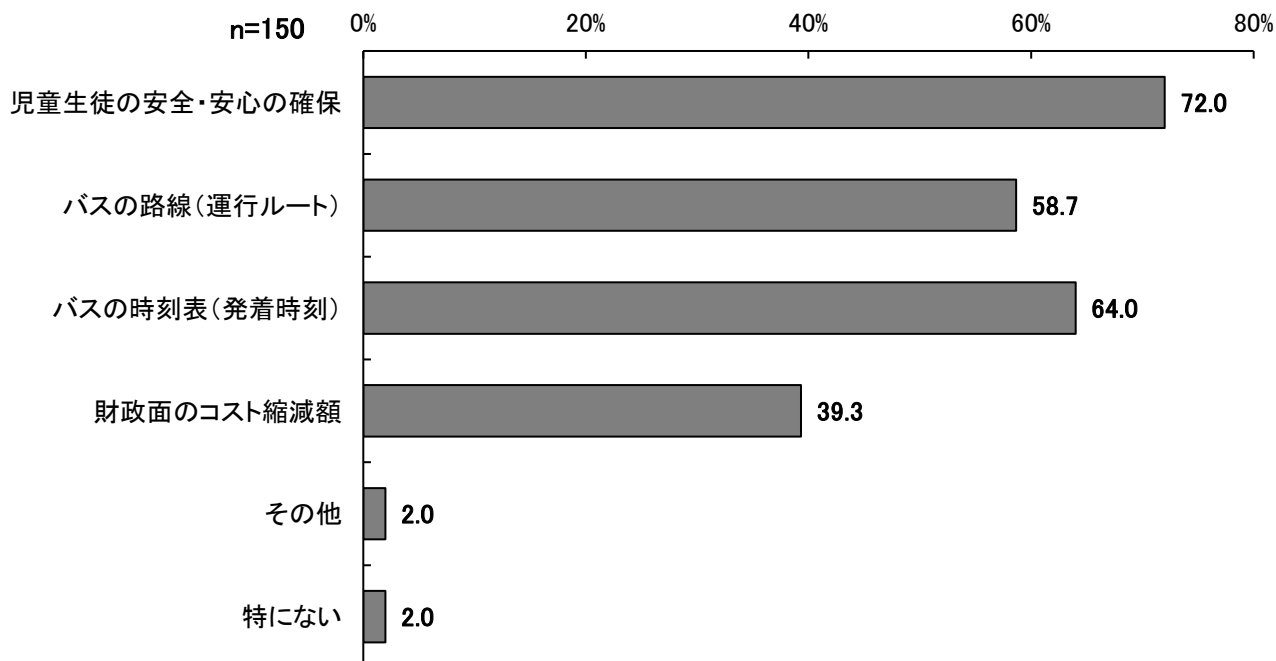
問11-1 バスの統合を検討する場合、配慮すべきこと

問11で「2」を選ばれた方におたずねします。

問11-1 バスの統合を検討する場合、配慮すべきことは何ですか。(〇は3つまで)

バスの統合を検討する場合に配慮すべきことについて、上位から「児童生徒の安全・安心の確保」72.0%、「バスの時刻表(発着時刻)」64.0%、「バスの路線(運行ルート)」58.7%となっています。

【全体】



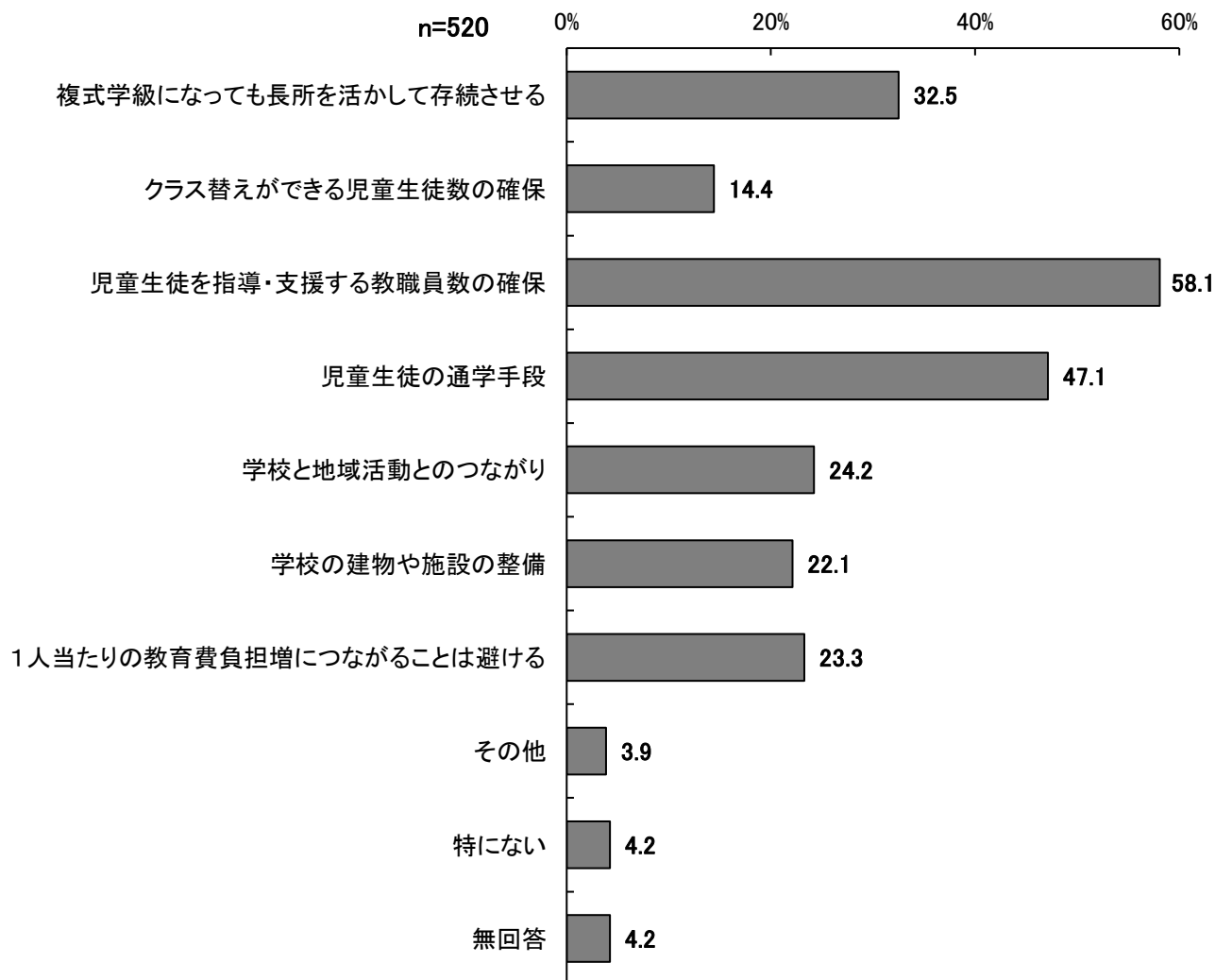
問12 小・中学校のあり方を審議するにあたり配慮してほしいこと

小・中学校のあり方を審議するにあたり、配慮してほしいことは何ですか。

(〇は3つまで)

小・中学校のあり方を審議するにあたり配慮してほしいことについて、上位から「児童生徒を指導・支援する教職員数の確保」58.1%、「児童生徒の通学手段」47.1%、「複式学級になっても長所を活かして存続させる」32.5%となっています。

【全体】



問13 町の小・中学校のあり方や再編・統合に関するご意見

その他、小・中学校のあり方や再編・統合に関するご意見があれば、ご自由にお書きください。(自由記述)

※原文のまま記載しています。

- あまりにも少人数というのは、部活動や行事にもマイナス面が多いと思います。現在でも、部活動等は人数が確保できておらず、合同チームが多いです。
- 人数が少なくなっていますが、クラス替えはあってほしいです。
- タブレット(スクリーン)を利用した学習を控える選択肢を用意してください。せっかく海陽町の自然、人、体験・・・からだ全体をフルに使って学ぶことができる環境がここにはあるのに、画面の人工的な光を見ることに異常に集中させ、最小限の指・手の動きで済ませるといった時間をこんなに増やして・・・大失敗です。すっかり運動能力が落ち、脳の健全な働きも落ちました。タブレット学習に体質などがあっている児童生徒がこの学習を選択できることは賛成しますが、体質などが合わない児童生徒にも一律にこれを押し付ける現在の教育方針・実務運用には反対します。タブレット学習なしでも苦しまることのない学習環境の整備を、その選択肢を問題なく選ぶことのできる実務運用を早急を実現してください。実際にタブレット学習を経験して、これは一人一人の児童生徒の健全な成長の為ではなく、GIGA スクール推進のポイント稼ぎとして子どもたちや学校、家庭が利用されているに過ぎない、と実感しております。がっかりです。心身が健全に成長していれば、聞きのオペレーションはいつでもできます(実際ただのオペレーション体験ですよね・・・)。子どもの内に、心身の健全な成長を阻害するような政策を子ども・学校に無理やり押し付けしないでください。DMVなどの広告塔としても子どもたちや学校が利用されることも大反対です。経済難だからと、金もうけのために子どもや学校を利用しないでください。DMVのPR動画も観ましたが、洗脳されたカルトの町、海陽町というタイトルがぴったりです。非常に悪いです。
- 長期休みでの1日当たりの金額が高くて利用しづらいです。それくらいですね！いつもありがとうございます。
- 小学校は、子どもの学習や安全、通学の方法などを考えると、個人に対応しやすい現在の地域ごとの分校スタイルで成長を見守れる方が良いと思う。中学校は、部活動や高校や進路の面において、統合し大人数での学習に対応できる事が望ましいと思う。色々なタイプの友人と交流し刺激を受ける事は、子どもの将来を考えさせる手伝いになると思うので。
- 小学校は心の故郷なので、日本の一極集中を防ぎ、将来地元で成人した子どもたちが戻ってくるきっかけにもなりうる。小学校を統廃合して出身の小学校がなくなってしまうと、Uターンしようとする心のよりどころの一つを失ってしまうことになる。地元の活性化のためにも、学校の統廃合は反対しています。
- 小学校は、災害避難所にもなる。近所の小学校が閉校し、その建物への人の出入りが少なくなると、避難所であるその建物の維持管理も難しくなり、しいては緊急時の利用も、しにくくなってしまいうため、学校の統廃合は反対です。
- 各学校とも生徒数は少ないですが、その分、各学校の特色が出せている。コンピュータや英語のきめ細やかな指導も今のままの方が優れて行える。学校が減ると、保護者の選択肢が減り、町外への人口流出にもつながり、地域の協力が失われる。「学校が多いこと」は、社会的にはプラスのステータスであることを思い出してほしい。一度廃止したら、もう二度と元には戻らない。みんながんばっているのです。地域のために頑張れるって素敵です。どうか生きがいを奪わないで。

- 統合を検討している理由をはっきり教えてもらいたいです。うちは、幼稚園に通っていたので、みんなと一緒に海南小学校に上がらせてほしいと申しましたが、それを許すと地区がすたるといわれて、うちの子は1人、知らない人だらけの学校に行きました。その下もそうです。次に上がる子もそうです。2人とも友達もできて楽しそうに通っているのですが、いいですが、小学校も地元愛を教訓にして、いるのに、統合とかびっくりです。二度とない子ども時代に何が大事かを重きにおいて、検討してもらいたいです。私たちには、何も決めることができないので。
- 「子どもがいなくなったから統合は仕方ないよね」で統合し続け、県南から子どもの声が無くなっては、遅いです。画一的な教育方法ではなく、その土地色などを取り込み、偉人等を輩出するようになれば、人も集まってくるのではないのでしょうか。
- クラス替えがあるくらいになれば、良いとは思いますが、交通手段が大変になるので、突喰は小中が一緒になれば良いと思います。ただ、防災公園が近くにてできるので、その所に学校が移れば良いなと思っています。
- 共働きの家庭がほとんどだと思うので小学校低学年の子どもたちが放課後安心して過ごせる環境を整えてほしい。
- 町としての考え方もあると思いますが、今のような少人数で全員の事がよく分かる規模が気に入っていますので、できるだけ今のままが良いと思っています。
- 学校への通学方法を完備しないと、登校時間と保護者の仕事を考えたときに必ずどちらかに無理がでます。現実的に再編・統合は無理だと思う。
- 異年齢でも顔と名前が分かり、みんなが仲の良い今の状態が好きです。個人的には統合を希望していません。
- 地元出身の先生が少なすぎる気がします。地域独自の特性があるので、もう少し増やしては。
- 教師の数が足りず、再雇用などの人員がいなければ教師の人数が確保出来ないのであれば、統合を考えても良いのではと思う。しかし、少人数だからこそ今、可能になっている授業もあり、それが統合によりなくなってしまうのは残念だと思う。クラス替えは、友人関係や学校生活などを維持する上で、あれば好ましいと思う。国の基準にそって、35人以上いなければ、2クラスにできないのか。教師の人数が確保可能ならば、もっと少ない人数だとしても、全学年2クラスにしてもいいのではと思う。(1クラス10~15人程度でも可能ならば)
- 海部小と海南小の統合を早急に希望します。海部小は少人数になっているにもかかわらず大規模な学校設備で、維持管理費がかかりすぎているのではないのでしょうか。先生の確保が大変難しい中で統合することにより、コスト面や先生の確保、又生徒も多人数の中で人間関係や勉学等学べることがたくさんあると思います。
- まず、少子化により海部高校に三校が統合して良かった点は何か？海南中学校と海部中学校が投合して子どもの為になったことはあるのか？統合して良かったと思っていない人の方が多いと思う。まず、過去の統合の実態を調査し、問題点・改善点を挙げてほしい。浅川小、川上小、海部西小、海部東小それぞれが長年築き上げてきた良さをごっそりなくしてしまったのではないかと思う。子どもは、地域の宝なのでお金をかけてほしい。国を基準ではなく海陽町の特別支援にかけるお金をもっと有効に使ってほしい。学級内の先生が複数いてくれるがあれの教育効果は上がっているのか見てて疑問である。学力向上は、生きていく上での生活水準の向上でもあると思う。不登校率はどうなっているのか知りたい。学校の授業の理解度、学校現場における教育七五三。高校で七割、中学校で五割、小学校三割が落ちこぼれ。生活態度のみだれや家庭教育力の低下による現状があるなら、統合はすべきではないと思う。
- PTAは廃止してほしい。夜集まるのは反対！！コロナで行事も少なく、PTAも活動が少なくなり困ることは全くなかった。PTA役員やりたい人なんていないと思う。

- 今後来るであろう地震や津波に対して、どの場所に学校がくるのかを検討して欲しい。その際、通学手段としてスクールバスなどを継続して欲しい。
- 発達障がい児のある子どもたちが、学校生活で困る事が無いように支援して欲しい。
- 発達障がい児の子どもの気持ちや行動などを理解して接してくれる先生を増やしてほしい。
- 学校と保護者が協力して、子どもたちが安心して暮らしていけるようにして欲しい。
- 自分の住んでいる地域（宍喰）への再編・統合であれば・・・と考えると良い面もあるかもしれませんが、小学校の子どもがスクールバスに乗って海南地域まで通わなければならないのかと考えると登下校の時間や生活習慣まで変化が出てくるのではないかと心配になります。少人数になってもできるだけ自分の住んでいる地域で学び地域のことを知ってほしいと願っています。また、少人数だからこそそれぞれの子が、様々な（個々に対応した）支援をうけることができるような学校になってほしいです。
- 小学校2校、中学校1校が望ましいと思います。
- 海南地区と宍喰地区は、地理的・文化的に統合するのは難しいと思う。地域のこれからを考えると、子どもには、居住区で学び、その人々と交流を深めることが大切だと思う。1学年2学級を確保する人数も今後難しいと思うので、1学級でも、柔軟に授業形態を変えられるよう、教職員数を増やす方が指導体制が充実すると思う。例えば、習熟度別や少人数・個別授業など。集団による教育の充実を図るなら、各校で定期的に合同授業などを行って、そのときだけ2学級でやったり、グループで活動したり工夫すればいいと思う。集団の母数を増やすことよりも1人ひとりの居場所や活躍できる場をつくることの方が大切だと思う。
- 小・中学校は地区ごとでいいと思う。遠くから通うことになったら大変である。
- 複式学級がどのようにするのか、全く想像がつかない。飛び級ではないんですよね？1学年8人以上いればよいと思う。私の小学生時代は35人×5クラスだった。だが、小学生時代からテレビでやっていた人数の少ない学校にあこがれがあった。夫は地元の人で、友達がみんな幼なじみみたいでよいなと思う。財政面では大変だと思いますが、学級人数が少ないことは魅力的なことだと思います。
- 統合は絶対さけるべき！町の活気がなくなってしまう。学校が町から消える事によって、人口減少にも大きくつながっていくと思う。町から学校をなくす事は断固反対！！良い見本が宍喰商業高校と思う。高校がなくなったせいで店じまい、人口減少、活気が全くなかった。近くに学校があれば、移住者も、来やすくなると思います。基本、子ども中心の考えの町づくりを切に願います！！！！
- 小・中学校の給食があまりおいしくないよとよく耳にします。子どもたちにも食の楽しみをもっと与えてあげて欲しいです。給食の改善を強く願っています
- 少ない人数の学校より、多い人数の生徒がいる学校に子どもを通わせたいと思っています。少人数だと閉鎖的にもなりやすいと思うのと、より多くの友達と関わって社会性を子どもなりに学んでほしいです。私自身も小・中学校と少人数だったこともあり子どもには生徒がより多くいる学校へ行ってほしいと強く思います。
- 絶対にもうこれ以上、学校の数減らしてほしくありません！！人数が少ないからまとめてしまうというのは少し乱暴に思えます。そもそも国や県の示す適正規模の基準が本当に適正とは思えません。1クラス35～40人は多すぎると思います。私自身、県外の大人数の学校（1クラス35人×6クラス）というところへ通っていましたが、人数が多いと、どうしても一人一人、先生にたいねいに対応してもらえないし、リーダー的な子を中心にクラスがまわるので、おとなしい子たちはクラス内で存在意義が薄くなりがちで、いてもいなくても同じような感じでした。（そうして不登校になる子もたくさんいました）。今、自分の子どもが海陽町の学校に通っていて最初は人数

の少なさにびっくりしましたが、先生方が本当に手厚くよく見てくれているし、全校みんな友だちなのがすごく素晴らしいと思いました！子どもたちもイキイキと個性を伸ばしているように見えます。学校の維持は、人員確保やコスト面で大変だとは思いますが、統合はなんとか避けていただきたいです！

- 再編・統合時には子どもの人数が多い地域に統合すべきだと思う。多くの子どもがスクールバスで通うなどといったことがないよう検討願います。
- 再編、統合に関しては児童の数に応じて一番効率的な運営を行うのが良いと思うが、問題は海陽町の将来を担う子どもたちが減少し続けている事であって、子どもたちがこの町で一生暮らしたいと思える町に、出来て来れなかった事が残念です。タイミングとしては遅いですが、今いる子どもたちがこの町に留まる理由を私は作って行きたいと思えます。そして外に出てしまった人たちも戻ってきたいと思える町にしたいと思えます。海陽町一丸となって、町を盛り上げて行きましょう！！
- 小学校に関しては統合はしないほうがよいと思えます。中学校に関しては統合はしてもよいと思えます。
- 通学がどうしても穴喰方面の方が海南へとなる可能性が高いので親の負担にならないように、安全面に配慮した移動手段は必須。また、中学校からでも良いような気もしますが、小学校からにするのであれば、穴喰小学校の先生方や校風も、大事にして頂いて、なるべく子どもの精神的な負担となることのないように「明るく楽しく」なるような環境づくりはお願いしたいです。また、統合しないとしても、他学年との交流をもっと密に増えるような仕組みがほしいです。宜しく願います。※その他、夏季限定の1～2ヵ月など一定期間、トライアルで統合授業をするなども良いなと思えます。
- 人数は少ないですが、どの子どもも学習に前向きに一生懸命取り組んでいます。大変なこともありますが、少人数であるが故に多くの経験（体験活動）ができたり、きめ細やかな対応するということが可能になります。これからの子どもたちは、以前の児童像は異なってきていて、支援の仕方とても多様化しているので、人数が多くなると收拾がつかなくなるかも・・・と感じています。これからの地域の子どもたちが健やかに幸せな人生が送れるよう教育行政にはお力添えをして頂きたいなと思えます。
- 毎年子どもが少ないのは事実。統合はせざるを得ないといずれは思います。近年災害、地球環境の変化も視野に入れられないといけないと日頃思っています。学校、家以外の場所で（外出先）地震があったらどこへ逃げる？のは、子どものほうが詳しいと思います。避難所は階段が多くお年寄りには逃げるのはむづかしいけれども、子どもたちに色々な場所に避難所があることを家庭からも学校からも学んでいけたらと思います。防災公園の着工が早く終われたら少しは安心はすると思えます。保・小・中・穴喰診療所が防災公園の様に上に建ててもらったらありがたいです。通学は、大人は車を運転する人が多いと思うので（最悪）バスがなくとも送迎はできると思えます。行きより帰りの心配の方が強いです。自分の地区は女の子が多いので、冬は特に夜道が不安なのでバスかスクールバスが（帰りのみ）使用出来たらありがたいです。話がズレてる部分もありすみません。
- 子どもの人数が少なく、体育の時にチーム対戦ができないのでは？クラス替えがないとかわいそうな気がする。
- 小学校と中学校の統合は別問題である。小学校のうち、家から近い学校へ（歩いて登下校できる距離）行き、その中で地域の人に触れ合ったり、交通ルールを身につけたりすることが大切。また、学習内容も難しくなっているため、今のまま、小集団で、手厚い教育をし、基礎がためをしてほしい。また、様々な面で支援を必要としている子、集団の中でまぎれてしまいそうな子を見

落とさないようにする必要があり、少人数クラスで先生からしっかり目や声をかけられ、友達との絆を結び、居場所を作ってほしい。だから、小学校は統合なく、今のままでいねいな教育を期待している。中学校では、再編、統合は仕方ないかと考える。しかし場所は津波被害を考えると安全なのは海陽中学校しかないと思う。政治をすすめる大人の利益を考えず、この町に産まれてきてくれた宝物である子どもたちを大切にすることを第一に考え、住民や保護者の意見をきちんと聞いてほしい。よろしくお願いします。

- それぞれの学校には良いところや伝統があるので単に統合すればよいとは思わない。学校が減ると地域が衰退してしまう可能性もある。少人数でも学校は残す方がよいと思うが、子どもの人数が激減してくるとそうも言えないので、その時は再編は必要だと思う。ただ統合した後、使われなくなる小学校がきちんと利用され、地域に開かれた場所であってほしい。浅川小学校も荷物置き場にすることでなく有効活用してもらいたい。
- 再編、統合した場合、保護者が送迎せずに済む方法を考えて欲しい。特に長期休暇の部活動が子どもだけで登下校できる方法を考えてほしい。
- 子どもの数が減っているので統合などはやむを得ないとも思いますが、どのようになっても子どもの安全を一番に考えていただきたいと思います。南海地震が発生した場合、突喰以外の小学校中学校では、どこへ避難しているのか・・・など不安はいろいろとあります。また通学距離が長くなる場合は、バス通学になると思いますが、町内の隅々まで来てもらえなければ別な方法を考えなければいけなくなります。少人数で保育所からずっと過ごしてきていますので、いきなり大人数になると子どもに大きなストレスになるとも思いますし、中学校から・・・などキリの良い時期であれば良いなあと思います。
- このあたりの出身ではなく、全く土地勘がないですが、子どもが突喰小学校に入学し、学んできたことを話してくれたり、地域との交流行事が多くて、とても楽しく、暮らしております。特に授業参観での避難訓練はとてもありがたく、毎年参加し勉強になっています。子どもの数が少ないので、部活動が成立しない、クラス替えがないなどデメリットもありますが、少ないからこそ、横だけでなく縦のつながりも多く、地域住民の方たちからもあたたかく見守られ、心豊かに育てているなど、日々感じております。人口が減っているので仕方のないこととは思いますが合併することで物理的な距離だけでなく、心理的なつながりも離れてしまわないかと思うと少し心配なところはあります。
- 特になし。仕方のない事は仕方のない事なので皆様の意見を尊重したいと思います。一番は子どもたちの為に！
- 生徒数が少ない事の長所と短所があると思います。通学手段さえ整えば統合するのもしかたがない様に思います。
- 中学校が2つの場合、部活動等が両校にまたがって参加できるのか、やはりそれは難しいのか気になります。例えば野球は両校に部があり、合同チームができていたと聞きましたが、一方しかない部活動は他校の生徒が参加することはできないのでしょうか。
- 海、山、川と自然あふれる海陽町で親切であたたかい先生方と共に子どもたちが学べるのがとても嬉しく思っています。今回のアンケートは子どもが減少し少子化を前提としていますが学校、町が協力し「魅力ある海陽町」となれば移住者が増え、もともといる家族も子育てしやすい、安心して出産できる、子どもが元気に笑顔あふれる町になるのではないのでしょうか。例えば、小さな町だからこそできる完全地産地消の給食、オーガニックな給食、安全安心な食を提供できる給食が食べられる学校というだけでかなりの話題になります。実際、食べたものでカラダは作られるわけですから、食をしっかり考えれば自ずと生活、学力へも良い方向へ作用します。全国でも給食を大切にしている自治体はあります。子どもたちの未来のためにもオーガニックが当たり前の海陽

町になってほしいです。それは町のためでもあるからです。山、川、海と自然を大切にする気持ちにも繋がります。食以外でも合成洗剤を使うことで海への影響、柔軟剤や芳香剤からの香害についての公害、自然を守るため、自分たちだけでなく次の世代へのことも考えてオーガニックな町づくり学校づくりへ希望します。

- 日本中で少子化の波が来ており特に地方においてはその影響が大きく海陽町においても児童数の減少に歯止めがきかないのはよく理解できます。現状とその先を見越して対策を検討する一方で、子どもを増やすための施策も必要であると思います。どの親も子どもには健康で元気に育ててほしいと思います。例えば、子どもを自然豊かな場所でのびのびと元気に子育てしたいと思う親にとって学校給食の地産地消、オーガニック化は魅力の1つになると思います。全国に先掛けて実施しているところもあるので、次の世代につなげるという意味でも有意義であると思います。美しい自然が残る海陽町だからこそ自然を大切にし次の世代につないでいく子をどんどん育てていけたら素晴らしいと思います。学校給食時に今回のお米は〇〇さん、人参は〇〇さん…と子どもたちと作ってくれた人がつながっていったらその子どもたちが大人になったとき、この町を次の世代につないでくれると思います。
- 少ない人数だから(子どもの数)再編・統合も必要な場合もあると思いますが(同級生がいない…とか)出来るだけ少人数だからこそ目が届く事もあるような気がするのもう少し様子を見てほしいように思います。逆に、少人数だからこそ出来る事をやってほしい。給食をオーガニック食材にする。せめてお米だけでもネオニコフリーのものを。牛乳をやめる(豆乳やアーモンドミルクとか)お茶でいいのでは?(地球温暖化の大きな原因の1つです。肉食も。)せめてアニマルウェルフェアのものを。フリースクール的な子どもがやりたい事を自分で決めて出来る時間があるといいと思う。子どもに「義務」ばかり教えるのではなく、「権利」について伝えてほしい。哲学や思想を学ぶ機会を。
- 同級生が数人しかいない学級で過ごすより、早く統合して友達がたくさん居る学級で、学習などをしてほしい。海部、海南小学校を統合するべきだと思います。海南小学校に行かせたいのに、送迎バス等がないので困る。数人しかいない学級、学校には行かせたくない。
- 学級の人数が少ないので海南小学校と海部小学校は統合した方がいいと思います。又は海部小学校をフリースクールなどにして学校が選べたら全国の公立校でフリースクールはあまりないので移住してくるファミリー世帯が増えて子どもが増えるのではないかと思います。
- 小・中と統合なら、高校までエスカレーター式にしてほしい。高校受験して地元民がおちて県外から合格した子が入って「謹慎」や「退学」になっていると聞きました。
- 何より子どもたちのことを一番考えてほしいです。
- 最近タブレット教育導入で教育の本質、学力向上への教育が十分できているのかわかりにくくなっている。先生方の負担も多く、結果子どもたちにとって十分な教育ができなくなっているのではと思うこともある。地域住民への説明はしっかりとしていただきたいが時代は日々めまぐるしく変化しているので統合をするのが望ましいと思う。子どもは新しい環境にも慣れていける。多くの友達や先生と出会い、多くの人の考え方と出会い、成長してほしい。
- 海部中学校を再編してほしい。
- 出来るだけ統合はしないで欲しいと思うが、学校の数が多いほど、優れた人材の確保が難しくなるのではないかと思います。
- 小中の統合があるのなら、空いている校舎に中高の支援学校を設立してほしい。近年発達障がいの子どもの数は増え、行き場を失っている。障がいのある子どもも他の子どもと同じように同じ町内で教育を受ける権利がある。

- 小中学校は、小規模になっても地区に1つは必要だと思う。(中学校の場合、仕方のないところはあるが)地域の良さがあり、育てている、生活している場所で子どもに教育を受けさせたい。統合するとどうしても小学校のある場所が中心となり、吸収された(そう言わざるを得ない)小学校側は子どもたちの声が消え、活気もなくなっていく。子どもにとっては、生活していない他地域の学習が中心となり、実感を伴った学習にはほど遠い。統合する良さもちろんあるのは理解しているつもりだが、小規模校の良さ、そこでなければできない教育を大切にしてほしい。「地域で子どもを育てる」→生まれ育って生活している場に小学校をなくして、この言葉は成就しないと思うのである。
- 夏休みや冬休み等、長期の休みの際、学童が突喰にもあるといいのになと思います。下の子たちを保育所に送ったり、自分も仕事に行かねばならず、その中で海部や海南まで送っていくのはとても無理があります。ぜひ突喰にも学童を作っていたきたいと思います。よろしくお願い致します。
- 避難場所となるよう津波が来ない所に学校を作るべき
- クラスや学校の子どもの人数が少ないと、集団での活動が制限される(学習スポーツや人間関係交流など)ことが気になる。
- 子どもの数が減ったので、再編、統合を考えるというのはどうなのかな?と思います。少人数だからこそできる活動や教育もあるのではないのでしょうか。
- 学校が無くなると地域がさびれる等、大人目線の意見を聞いたことがあります、大事なことは当事者である子どもたちであり、子どもたちの成長に何が良いのかを考えサポートするのが大人の役割だと思います。
- 小規模校のよさはもちろんあると思うが、固定された人間関係、言わなくても伝わる人間関係、すぐに手助けできる教員の存在が、個人の社会性を育てる上で、大きく作用してしまっていないかと心配になる。一方、通学手段がなければ大変なのでスクールバスは手厚さがある。特に中学校は部活動で帰る時間もバラバラなので、30分から1時間おきくらいの運用が必要かもしれない。平日朝夕にほぼお客が乗っていないDMVなどを活用出来たら最高だと思うが融通はきかないだろうか……。サイズ感、小回り感もぴったりで無駄がなくてよいと思う。通学の手段さえ確保できれば、保護者も安心できる。
- 少子化の為、統廃合が進むのはやむを得ないと思いますが、それにより子どもが体力的、時間的に負担が増すのであれば問題があるように感じます。国や県がこう言っているからといった上意下達を頑なに守るのではなく、その地域の実情に合った方針、やり方があっても良いのではないかと思います。柔軟な対応を望みます。
- 子どもが少なくなっているのはわかります。学校が学び合う場なら多人数が良いことも、少人数が良いこともそれぞれあると思います。学校がたくさんの人とふれ合える場所と考えるなら統合も必要だと思いますが、海陽町がこれからも元気な町である為にも人がたくさん集まる町にならないと統合しても人が減り、子どもが減ると思います。
- 小学校はスクールバスが利用できるのが良かったですが中学校になって町営バスになり全く学校への対応が出来ていないため子どもの送迎に一度ふりまわされている。
- 1学年に人数少なくても2クラス制にして欲しいです
- 今いる生徒をどうやって集めて行くか?という問題ではないと思います。海陽町の人口が減っていく一方な事に重点を置いて、どうやったら子どもがいる家庭を海陽町に呼び込む事が出来るか?ではないのでしょうか?減ってるから合わせて増やすのではなく、現状を良くする為に私たちに何が出来るか?だと思います!!

- 私はこれからは個の時代と考えます。集団が日本の特徴でありましたが、今の時代国際化が進み、様々な国の人と交流することが活発になり、その時代に対処できるのは集団の一員では不足。自分というものを持つ個人の確立、それが求められていると考えます。教育の現場においてもぜひ個人の考え方、想像力、創造力などを育てることを重視していただきたいです。また、地域の過疎化は大きな課題となっています。幼いころから子どもたちに地域の素晴らしさを伝えることが必要だと思います。地域の人からどのような生活をしているのか大人との交流を通して、仕事、技術、文化の継承ができる社会を作っていくことが、将来子どもたちが自分の生まれた町で生活していきたいと思えるようになるのではないのでしょうか。ぜひご検討いただきたいです。
- 今後少子化は進むばかりで再編や統合はやむを得ない。いい移住や起業などをすすめ、若い人を増やす。子育ての支援を充実させて定住してもらう（千葉県のように）。
- 海部小と海南小は統合するべきだと思う。距離もそこまではなれていないので。穴喰小は離れているので住民の意見を聞いて、統合しても良いという意見が多ければ統合すべき。少人数よりも適度に多いほうが色々なお友達や先生、保護者等に出会え、その分学ぶこと経験することも増えると思います。
- 再編・統合において将来生徒たちが得るものを多々身に付け体験できる環境を。
- 子どもたちも少なくなって再編・統合も仕方ないと思うが、出来るだけ、子どもの立場になって考えてほしいと思います。
- 人口減少が予測される中、子どもたちは「人財」である。その基本となる「教育」は正しく行われるべきであり、子どもたちの「権利」である。教育格差が叫ばれる中、海陽町の子どもたちへどのような支援をするか、町全体で考えなければならない。再編・統合には「反対ではない」が再編した場合、町内で格差が生まれにくい仕組みを大人が考え、実行しなければならない。その為に路線バスと統合しても良いが、安全面をどうするか、待ち時間を有効に使えるか、その仕組みは持続可能か※ボランティアや親族の負担は最小限か等様々な項目を検討し、実行し、改良し続けなければならない。海陽町を魅力的な「まち」にするためには「子どもたちの教育」は重要であり、即効性がなくとも継続して投資を行わなければならない。子どもたちの未来が明るくなる施策を期待している。頑張ってください。
- 国が進める再編・統合をしても何も良い結果が出たことはありません。私は県職員 OB ですが、正に身を持って体験しています。小中学校の再編・統合も、結局は財政負担の軽減以外の何者でもありません。私は大阪から S57 年に海南町に移住してきましたが、小学校が廃止されてからの地域の不活性化は著しいものがありました。隠岐諸島の自治体では、小さな学校ながら都会からの日内留学生（徒）が多数来ています。ここに地域の小中学校を活性化させるヒントがあるはずで、日内留学生を集めることなど魅力ある教育を行うことで地域も活性化させることができると思います。結局、合理化の名の下に財政負担の軽減政策に乗っかると金額に見合ったそれだけの結果しか生まれません。
- 小中は必ずいじめがあります。私は小・中でいじめにあいました。逃げ道を作ってあげてほしい。町で一つの学校なら逃げ道がなく、町外に出るしかない。町にとってもデメリット。きちんと先生が生徒と向き合えるようにしてあげてほしい。
- 人口減少の流れの中では学校もその波を避けることは難しいと思います。ただ最初に再編・統合ありきではなく、どうすれば維持できるかの知恵を絞りだし議論を尽くすことをお願いします。辺地であっても自然が豊かな当地でなら特色ある学校づくりができそうな気がします。例えば山村留学制度の充実やグローバル活動事業を拡大して文化、芸術、スポーツなどを取り入れたメニューの作成などなどです。いちばんは当事者の子どもたちが夢や希望を育み、その実現に向か

う環境づくりをお願いいたします。いつの時代でも人が大切にされ人が主役の社会が大事です。この地から次代を切り拓く人づくりを進めていただきたい。

- 地域に学校があることで町に人の流れが生まれ、活性化につながると思う。学校がなくなれば人口がだんだんと減るきっかけの1つになるのではないかと危惧している。
- 子どもたちは地域の宝です。今後とも大切に育てていただけますようお願いします。
- 中学校は再編・統合し、土曜授業の再開をする。統合（教師も含め）により1クラスの人数が何人になるかは不明だが、おそらく2クラス編成では。教師の人数は確保できている（？）ため、公務員としての週休二日制度は守られる。土曜授業は2,3時間目までとし、部活をして午前中で終了。平日の授業のコマ数は減るため、早く部活に取り組み。そして早く帰宅できる。1クラスに対して担任以外の教師を何人か配置。数人の教師で管理し、指導することで、質の良い教育を子どもたちが受けられることを願っている。
- 将来的に再編・統合は避けられないと思います。
- 川上の地域から海陽中学校へ通うには自転車だと坂も多いし、外灯もあまりないので心配です。保護者が車で送り迎えできればいいけれどもちは母子家庭だったので大変なときもありました。放課後、高校受験のため残って勉強するときもあったので、子どもたちが安心して学べる環境づくりに取り組んでいただけると幸いです。
- 小学校の統合には反対、中学校は積極的にすべきだと考えております。地元の小学校が廃校になってしまうのはさびしいですし、核家族やひとり親家庭、共働きの家庭の増加といった現状をふまえて児童の通学による安全面、放課後の児童の過ごし方を考えると賛成はできない。その点、中学生にとっては少人数で学習や部活動をするよりも、切磋琢磨し、人間的な成長も望めるのではないかと思います。またクラス編成もできるようになり、新たな人間関係の構築ができます。
- 子どもたちの人数が減っている中で、再編や統合はやむを得ないことかもしれないが、子どもたちの通学方法や通学時間、安全の確保など十分に思慮してほしいと思う。また、保護者の方の負担面なども同様に考えてほしいと思う。よろしくお願い致します。
- スポーツをすることを考えると再編・統合は良いと思いますが、少人数だからこその良さはあると思います。家族のような深い関係性はすばらしいと思います。
- 子どもが少ないので統合したらよいです。
- 30代、海部地区出身ですが、私自身が小中の頃にクラス替えを経験したことがないので、あまりそこに重きを置く理由がピンと来ないです。当時から再編・統合は仕方ないという感覚でいました。現在、再編・統合となった場合の当事者ではないので現役の方々の声とかは分かりませんが子どもたちにとって最良の答えになればいいなと思います。
- 学校が休校になると地域は必ず疲弊し必ず人々の交流も無くなります。どうか学校がなくなっても体育館や運動場の活用をして頂き、子どもの声が聞こえるよう出来るだけ活用して頂きたい！人口減の為、運用は難しくなりますが教育と医療が消滅していくとこの地域は未来がなくなり、阿南方面への移住も起こります。教育は大変大事な事と思います。
- 「学校側の情報共有意識の低さ」「加配が必要と思われる子どもへの対応不足」「教師の業務量」「保護者から学校への要求のエスカレート…等」問題は多いと思いますが、保護者も、学校側も「優先すべきは子どもたち」という意識が低いのでは、と感じています。教育委員会と学校の連携も疑問を持つことが少なくありません。私は、たとえ子どもが少なくとも、学校関連の予算を削る事は改悪と考えています。とはいえ予算には限りがあるのも事実であれば、では「どのように変えていくのが子どもたちのためによいか」「そのために何ができるか、するか」は、俯瞰的視線が必要であり、そのためには、まず現場の教師の意見に耳を傾ける必要があるのではないのでしょうか。

「公立」の意味を、町長、教育長は理解して頂きたい。あの町で子育てをしたい、と思われる学校になる事を願っています。

- メニューを豊かにして、選択的通信教育の充実をしてほしい！！
- 各校1校にするのは、性急かもしれませんが、少人数での教育より大人数の方が将来子どもたちの人生にプラスになると思われます。私も奥の地域から町に出て来ましたが、結果的には良かったと思っています。一番良かったのは友達がふえた事などです。ただ、距離的に困る家庭が出る可能性があるのでは交通面で一考する必要があると思われます。熟慮されたし！
- 家から自転車で、学校まで遠い人の安全確保をしてほしいです。
- 人口減少に伴い、子どもの数も少なく、統合は仕方ないことだと思う。複式学級も利点はあるだろうが、同級生の中で勉強も運動も互いを認め競い合いながら成長していくのが良いと思う。統合され、廃校となった周辺地域は寂れていくであろう。廃校舎が町民の憩いの場として活用されることは勿論であるが、町が活性化される使い方を模索してほしい。
- 学校だけでは生徒数を増やすことはできない。海陽町に若い家族が少ない理由として仕事がない、アクセスが悪い等があげられる。これは県教委だけで解決しようがない。スクールバスと路線バスの統合も仕事減らすことにつながるのでは個人的には×。海陽町に住みたいと思われる町づくりが先決だと思います。
- 子どもの数が減少しているのでは統合は自然な流れであると思う。
- 再編・統合に関しては本当にむずかしい問題だと思います。高齢の1町民としてはこれといった意見も答えられません。6月29日の徳島新聞の鳴潮に考えさせられさせる文がのっていました。なるほど…。そのとおりかもと考えさせられました。
- 奥浦に小学校があり、元気な姿を見、あいさつできることは大人にとって幸せなことではあるが、もう何年も前から少人数での仲よしクラブ状態では、学校とは言えず、ある程度の人数で学校という社会、気の合う相手がいたり趣味を同じくする人、嫌な人や苦手な人、競争する相手、学業、スポーツなど多様な人の中でこそと思います。大人のエゴで（父兄や先生）今のまま続けることは、子どもの為にならない、おかしいと思います。
- なるべく児童保育所、小学校、中学校を存続させてほしいと思います。必要な時にいっしょに学習する形態がいいのではないのでしょうか。由岐小・中も生徒数は少ないですが存在しています。統合が手段とは限らないと思います。
- 以前、心理学者ダニエル・ゴールマンの著書「EQ、こころの知能指数」を読んだことがある。IQ（知能指数）や偏差値の高さによって幸せな人生を送れるとはかぎらない。大切なのはEQ！自分の本当の気持ちを認識し、激情をコントロールし失敗してもあきらめず他人の気持ちを思いやる・・・等々の能力だとある。又、人間が社会で活躍し幸せに生きていくうえでIQが役立つ場面はたかだか2割、あとはEQで決まる。EQはふつうの子どもは思春期の終わりごろまでに学習するのが理想であり、大人になって修正するには何倍もの苦労が必要になるそうだ。わが町海陽町には海、山、川、等自然に恵まれ昔から農林水産業を基盤とした一次産業が盛んである。都会と違って経済力には劣るがEQを育てていく体験学習の題材は無限にある。地域との繋がりを持った教員を育成し、体験的な学習方法を開発し地方から中央へ発信して行けたらと思う。
- 現在の子どもたちは我々の子ども時代とは違い、歩くことが少なくなっていると思います。一家に2台の車が当たり前の現代、子どもたちは親に車で送り迎えをしてもらうのが通常のように。今、小学生は徒歩での集団登校をしておりますが、これが学校が遠くなりスクールバスでの通学になってしまうのは残念です。歩くことは発育盛りの子どもたちにとってとてもプラスになると考えるからです。

- 可能であれば、再編統合に関する会議はひらかれたものとして、HPに議事録を上げるなど、広く知らせていただきたいです。トップダウンに終わらない話し合いがおこなわれますようご尽力ください。アンケートの内容から統合ありきのようですが、一度フラットな状態に戻って少人数制の長所も含めて考えていただければと思います。
- 子どもたちの選択肢を狭めないようにしてほしい。例えば人数が少ないから（統合しない場合）やりたいスポーツができない（野球・バレーなど人数がいるスポーツ）とか家から遠いからできないとか。もちろん親は協力したいと思っているけど働いていたら限界がある。そんな時に町の協力で選択肢が少しでも増えるなら親としても本当にうれしいと思います。逆に統合しても同じで、送り迎えの問題が大きいと思うので、そこは考えてもらいたいです。どちらになっても子どもたちにとって何不自由なく自由にのびのび学校生活を送れることを願います。
- 統合・再編。そのせまい考えをすてた各学校がどうすれば若者が地域に住み、そして子どもと暮らしてもらい、そのためにはどうすればよいのかを考えるべき。人口の増減を傍観するだけ。そして子どもたちが減少したから統合…あまりに無力で悲惨すぎる。地元への愛情、地元への思い、全て子どもたちから薄まっていくいっぽうだ。学校それぞれが魅力ある学校、校風、子の親世代の若者が、この学校ならうちの子を入れたい！そうしてもらえよう学校関係者は尽力するべきだ。
- 10年後予想される児童・生徒数の正確な把握。決して甘く見積もらないこと。基本となる数字を読み誤らないこと。計画は作って終わりでないこと。チェックしながら臨機応変な対応。
- 小さい頃から視野を広げる為にも、多人数の中で切磋琢磨して成長してもらいたいと思います。
- 日本の学校教育では、大人や教師が知らぬ間に子どもたちの自主性、主体性を押さえつけるような教育だと言われています。大人の「こうでなければならぬ」という概念を良かれと思って教えていますが、気づかぬ内に「他と同じでなければならぬ」や「先生に怒られることはしてはいけない」が植え付けられ、本来の子どもたちの自由な考えを潰してしまっていると言われています。子どもをしかる大半は大人にとって大変だったり、都合が悪いからであればそれを子どもに押し付けるのは教育とはまた別のものだとも言われます。日本では学校で”こうでなければならぬ”という義務ばかりを教え、諸外国では人権の一つである”自由”を徹底的に教えてくれるものです。自由に物事を考え、行動できる権利を日本の教育に教えてくれない（極端に少ない）とも海外からは言われるほど。それゆえ過去に類を見ないほどの不登校者や若い世代の自殺者が増えているのが現状です。これは”他と同じでなくてはならぬ”を何十年も教え続けた日本教育の代償です。地方の、ましてや日本の宝である子どもたちを守れる町であって欲しいと願います。多くの有名大学教授なども声を上げています。そうした映画なども多く公開されています。1つ例に上げるなら『夢みる小学校』を検索して予告編だけでもご覧になってください。統合して1つは今まで通りの学校、もう1つはこうした学校として選べる町になっても、全国から多くの親たちが興味を示してくれるのではないかと思います。よろしくお願い致します。
- 今後、児童・生徒の数が減少することになると思われるので、統合に関しては慎重に審議をしてもらいたいと思います。
- 海部小学校の人数減少を懸念しています。海南小学校との合併も今後仕方ないかとは思いますが、宍喰小学校との3校合併となると通学の問題や、地域から子どもの姿や声が聞こえなくなるのも、淋しいのでは（特にお年寄りの方が）と思います。中学校は2校合併に賛成です。年齢的にも沢山の仲間と切磋琢磨し、学び合うことが望ましいのではと考えています。この地域ならではの温かさにふれながら、心豊かに健やかに子どもたちが成長していってくれることを願っています。
- 人口を増やす事が最優先に考えるべきだと思う。その為には企業誘致などを行ってほしい。高齢者ばかりの町になってしまえば、財政どころか昔の「オバ捨て山」が出来かねない。役場の人間たちが自分だけ良ければ良いという考えを捨てて、もっと今後の町が活性化するにはどうしたら良

いかを考えてほしい。町議ももちろん含まれる。今ある資源は少ないのだから、増やすことを真剣に取り組まなければ人口なんて増えないと思う。凝り固まった昔からの閉鎖的な考えを捨てなければ今の町はなくなってしまうと思う。又、きちんと3年後はどれだけ海陽町(例)の人口が減ってしまうのか等をきちんと住民に理解してもらい、本当に大変な事になると知ってもらわなければならないでしょうか？

- 子どもの人数が少なくなって、いろんな活動が難しかったりと大変だと思いますが、少ない人数だからこそ充実した学校になればと思います。
- 勉強も運動も競争できればいい。クラス人数が多い方がいい。何年も複式学級ならばそろそろ決断すべき。
- 小規模校であれば、生徒一人一人に目が良く届き、先生方との心から交流信頼関係を築きやすく勉強の成果も上げやすそうに思うけど、海陽町における新生児数を考えると小規模どころの児童数でない・・・。町で1校又は2校に統合して、1クラスの児童数をある程度確保すれば、集団としての組織指導や集団の中での多様性、協力、能力など社会性も伸ばしやすそう。教員数も統合することで多くなり生徒指導の充実も図れる。ただ通学圏が拡大したら通学時間や通学方法など、子どもに負担がないようにと思う。
- 子どもたちの交友関係を広げるため、また、リーダーシップを取れる子が偏らないようにするためにもクラス替えができる規模の児童生徒数を確保できるようになればいいと思う。スクールバスと路線バスの統合を検討する際遠方の子どもたちの通学にはスクールバスにこだわらず、タクシーを利用する方法もあると思う。穴喰地区は海部海南地区からも遠く離れており子どもたちの通学の面で心配があるが、海南・海部小学校は統合できるのではないかと考える。もし統合されて使用されなくなる校舎ができるのであれば、統合後の活用方法(サテライトオフィスにするなど)も併せて検討していく課題だと思う。